

KEK研究系技術職員 採用試験Q&A

よくある質問やWeb説明会で質問のあった事項をまとめました
KEK研究系技術職員の採用試験応募にあたりご参考としてください

Q&A KEKの技術職員の仕事について

Q：大学の専門性について問われますか？

A：KEK技術職員の業務内容は、工学系、物理系が中心ですが、ご自身の専門が大きく関係することはありません。

多くの技術職員は、KEK採用後に身に着ける技術で専門性を追求しています。KEKの環境としては、周辺に専門的な教員・技術職員が多く、入職後に勉強することには事欠きません。

理工系学問の素養のある方で、KEKの技術業務に強く興味を持っている方、何か一芸に秀でたものをお持ちの方には、是非応募していただければと考えています。

Q&A KEKの技術職員の仕事について

Q：大学生の研究と社会人としての技術開発の異なる点がありますか？

A：学生ときは指導教官のサポートがありますが、社会人としての技術開発は仕事です。時間や費用を考えて結果を出すことが求められます。

**Q：勤務地が変わる異動はありますか？
研究グループ間の異動、研究所・研究施設間の異動はありますか？**

A：原則は採用時のキャンパス、研究所・研究施設で勤務いただくこととなりますが、業務命令等で転勤、異動する可能性があります。

また、業務命令のほかに、本人の希望によるキャンパス間や研究所間、グループ間の異動をおこなうこともあります。

Q&A KEKの技術職員の仕事について

Q：放射線を扱うところが多いと聞きましたが、放射線管理の資格は必要ですか？

A：単に放射線業務に従事する職員については資格は必要ありません。
ただし、放射線管理をおこなう部署（共通基盤研究施設放射線科学センターなど）では必要となります。
※採用時に取得している必要はありません。

Q：英語力は問われますか？海外出張はありますか？

A：普段の仕事において英語が必要となります。
また、学会参加などで海外出張へ行くこともあります。
機構内では英語研修の実施もありますので、英語が不安な方も苦手意識を克服し、積極的に習得する意識を持っていただければと思います。
海外の研究機関へ長期派遣する制度もありますので、興味のある方はぜひ参加ください。

Q&A KEKの技術職員の仕事について

Q：夜勤の頻度や年末年始の休みはどうなりますか？

A：部署により夜勤業務のないところもありますが、実験などで24時間装置を運転する必要のある部署はシフト勤務（夜勤）があります。
夜勤の頻度は部署にもよりますが、概ね月数回程度です。

年末年始やその他の休日については、加速器運転、実験の状況により出勤することがありますが、お休みできなかった場合でも別の日に休日を取得することとなります。

Q：採用後、資格取得費用の補助はありますか？

A：天井クレーン、冷凍機械責任者、放射線取扱主任者など仕事に必要な資格試験の費用はKEKで負担します。

Q&A 採用試験について

Q：機構技術21-1の選考日程を教えてください。

A：選考日程については応募いただいた方にお知らせしています。
事前に知りたい方は、担当までお問合せください。

Q：採用試験については、複数の公募がありますが（機構技術21-1・2・3）、重複して応募できますか。

A：各公募の応募条件を満たしていれば、複数の公募に応募いただいて構いません。
なお、公募により実施要領が異なりますので、よくご確認の上、応募ください。